

AAINews

APPROPRIATE AGRICULTURE INTERNATIONAL CO., LTD

国際耕種株式会社

〒194-0013 東京都町田市原町田 1-2-3 アーベイン平本 403

TEL/FAX: 042-725-6250 Email: aai@sk9.so-net.ne.jp

コンピュータショー in ダマスカス

4月25日から30日までの6日間、ダマスカスの国際展示場（日本でいえば晴海や幕張のようなところ）でコンピュータショー「Sham '99」が開催された。配布されたパンフレットによれば、このような展示会は5回目で、第一回は1994年に開催されており、年々規模は拡大していて、今回は参加企業・官庁数が約170、推定入場者数が約5万人ということである。会場には6つの展示ホールがあり、コンピュータや周辺機器、ソフト、関連書籍等の展示や、インターネット、GIS等に関する講演会も開かれていた。

最近のシリアにおけるコンピュータの普及はめざましいものがあり、ダマスカスの街中にも組立パソコンやそのパーツ、ソフトウェアを扱う店やパソコン教室が増えているようである。IBM、Compaq等のメーカー品も流通しているがその値段は高く、各店が独自に組立てて売っている「1,000\$パソコン」が主流のようである。ちなみに、ソフトはほとんどが違法コピーで、パソコンを買うといろんなソフトがおまけでついてくるようだ。

シリア農業省の普及局や訓練局などダマスカスにある各局（Directorate）レベルでは、コンピュータは各課に1台、多い場合は3～4台配置されており、文書や表の作成等には日常的に使用されている。地方レベルでも、各県（Province）の農業局へのコンピュータ導入は進んでおり、下部組織のDistrictへの順次導入や電話回線によるネットワーク化も予定されている。ただインターネットは、シリアではまだこれからで、一般向けのプロバイダーはまだなく、隣国レバノンのプロバイダーあるいは、シリア周辺国にアクセスポイントのあるプロバイダー経由となる。

概してシリア人は最新の機械やかっこいいものを好む傾向があるようだが、コンピュータもしかりである。しかし、コンピュータを導入すれば魔法のようにすべてが解決するわけではない、という当然のことをまずしっかり理解すべきだろう。農業省の職員を見ても、書類やファイルの整理がきちんとできない場合がよくある。内容別にしっかり分類して一つのファイルにまとめる、分類された書類を時系列に並べて管理する、といったことがあまり得意ではないようだ。コンピュータにおけるファイル管理も、紙に印刷された書類の管理も同様だから、せっかく作ったファイルの保存場所がわからなくなったりすることもままあるようだ。

また、コンピュータを習いたいとか、コンピュータのトレーニングをして欲しい、という要望はよく聞くが、ではコンピュータで何をしたいの、と聞くとあまり具体的な答えは返ってこない。シリアの、特に役所の職員の仕事振りを見ていると、コンピュータにしても、日々の仕事の進め方にしても、自分で考えて行動するという態度が欠けているように見える。日本とはシステムが違うのでいちがいには言えないかもしれないが、上からの指示だけで仕事をするのではなく、自分の考えややり方が仕事を進める上で生かせるようになれば、シリアという国はもっと変わるだろう。従って、農業普及員の研修という与えられた分野における技術協力を通じて、「計画的な業務の遂行」あるいは「仕事に対する取り組み方や態度」といったことをシリア人カウンターパートにいかにつけていくかも今後の重要な課題である。しかし、シリアでは管理職クラスが自分の部下を育てるといふより、特に優秀な人材は将来自分の地位を脅かす存在と見て敵視するような傾向があるのも事実である。「人造り」を考える場合、管理職以上の上層部の意識改革も必要かもしれない。
(在シリア・湖東)

